

NKE

省配線機器を「デマンドカット」に

後付け簡単
IOT端末

「れんら君」で状態監視



岡 友也氏

省配線化が可能。最近では、デマンドカットコントローラーをシステムアップする際に利便性の高い機器として、同社は「ユニライン」を提案している。また設備の状態監視などの用途では、既存設備への後付けで簡単にIOT(モノ)のインタ

ーネット)を構築できる「ユニライン」は、配線の制御・制約がなく、自由度・耐ノイズ性を徹底的に追求した現場志向のシステムを構成する際に役立つ。特にPLCに

関しては専用インターフェースを数多くラインアップしている。I/Oネットワーク領域の省配線システムとして多くの実績を有する。営業部営業支援グループの岡友也氏はアプリケーションの一例として「昨年来の電気代の上昇を背景に、施設の電力対策としてデマンドカットシステムを構築したいとする向きがある。その際に「ユニライン」をご活用頂くことで、例えば、電力使用状況がデマンド値を超えそうな場合に、空調設備や電気設備の稼働を抑制したり、停止したりさせる制御を加えることができると話す。

他方「れんら君」のラインアップの中で「アナログれんら君」や「稼働監視れんら君」は、各種センサーと接続すると、

駆動状況や室内環境変化の状態をモニター画面にグラフ表示させることができる。あらかじめ設定した上限・下限値を超えた場合には、電子メールによる自動通知を発する機能を有している。

NKEは「れんら君」と各種センサーを組み合わせたパッケージ商品をシリーズ化している。温度センサーと組み合わせた「温度・湿度パック」、電流センサーやリッドスイッチと組み合わせた「稼働監視パック」、振動センサーと組み合わせた「振動パック」などがある。これらを設備の保守管理時の予知保全用途で提案中。徐々に採用実績を積み上げている。さらに、設備メンテナンスを行う作業者の腰にかかる負担軽減に資する腰専用の超小型アシストスーツ「エアサポ」も同社は販売している。

NKE(社長■中村道一氏、本社・京都市伏見区羽束師菱川366-1)はビル・工場での空調設備を含む設備機器の保守メンテナンス用途で、省配線機器「ユニライン」を提案している。同機器はコントローラーに左右されない独自のシステムであるため、現場ニーズに合った配線システムを簡単に、柔軟に構築できる。プロگرامアルコントローラー(PLC)などのコントローラ

による制御システムの

ットワーク領域の省配線